

「認知症予防カフェ実行委員会」と「福寿草の会」の会報を紹介します

新型コロナの影響の中、会報の発行を通じて、地域や社会の課題を少しでも解決したい、と取り組んでいる団体があります。団体活動の訪問がなかなか難しい状況の中、今回の訪問記では「特別号」として、2つの団体の会報を紹介させていただきます。

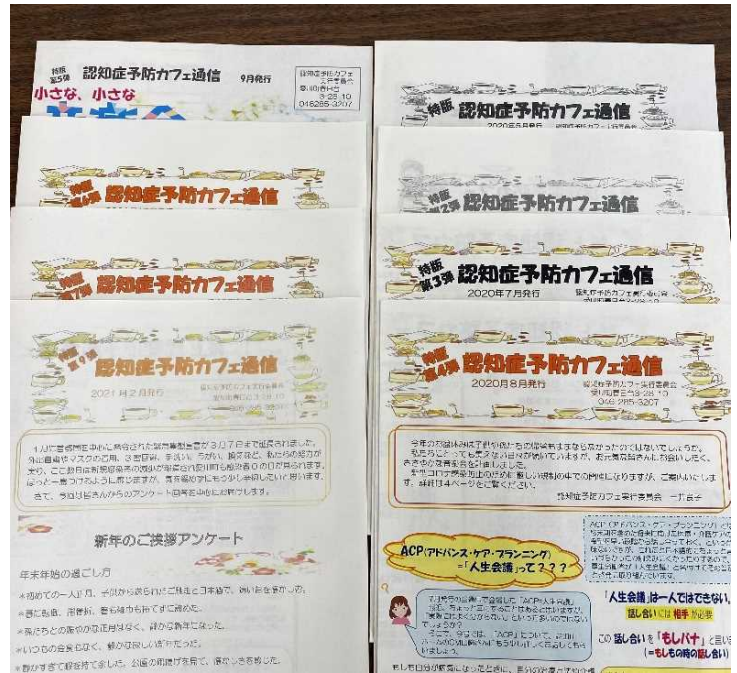
認知症予防カフェ実行委員会

「認知症予防カフェ通信」

高齢者が集える場所がほしい、住み慣れた地域で誰もが安心してくらすことのできるまちをつくりたい、とスタートした認知症予防カフェは、町の「住民提案型協働事業」として3年間取り組んできました。

普段は月1回、カフェに集まって「コグニサイズ」や歌などを楽しみますが、コロナの影響を受け、月1回の会報で会員の交流を進めています。優しい呼びかけの言葉、クイズ、懐かしい歌の歌詞、手軽な体操、健康メモ、レシピ、会員の近況報告など、てんこ盛りのラブレターのような会報で、作る人の思い、読む人の笑顔が浮かびます。

連絡先：三井良子（みつい よしこ）
電話：046-285-3207



福寿草（ふくじゅそう）の会

「ふくじゅ草の会だより」

介護の必要な高齢者の家族の会として、保健師の呼びかけを機に発足したのは20年前。介護保険制度がなく、介護の情報や理解も少ない時代で、家族が不安と焦燥を感じていた中、手探りで立ち上げた会です。現在は町社会福祉協議会の支援を受けて、家族交流・親睦会や、講座・体験会・学習会などを行っています。

介護の社会化が進んだ今でも、人が輪になって話し合い、うなずき合うことはとても貴重です。会報は、会合に出席できなかった人を置き去りにしないために発行しているとのこと、手書きの温かみのある文字が励みになります。令和3年1月で161号、積み重ねてきた努力に頭が下がります。

連絡先：愛川町社会福祉協議会
電話：046-285-2111（代）

上記の会報は、サポセン内の掲示板やホームページに掲載しています。

今回の訪問記では、2つの団体を取り上げましたが、同じように活動をしている団体は、まだまだたくさんあります。少しでも関心をお持ちの方、参加してみたいと思われる方は、それぞれの連絡先又はサポセンまで、お気軽にお問い合わせください。